



保育の見直しと その取り組み

京都府舞鶴市

社会福祉法人倉梯福祉会

さくら保育園 園長 森田達郎

さくら保育園について



京都府北部 舞鶴市 人口8万人

日本海に面し、自然豊かな町

海上自衛隊・海上保安庁の拠点が有り、軍港・城下町として栄える。引き上げの港としても知られている
近年は海軍倉庫を改修し、赤煉瓦の町として観光に来られる。

社会福祉法人倉梯福社会さくら保育園
は昭和28年開園 開園65年を迎える
0歳児～5歳児 110名定員

職員32名 ※パート含む

同一敷地内に学校法人立の幼稚園があり、160人を
保育している ※共有の園庭



転換のきっかけ

- ①平成28年2月 園長が第三者評価の評価者として訪れた保育園に衝撃を受ける
(子ども主体の保育の実践園)
- ②平成27年から舞鶴市の乳幼児教育ビジョンに参加していたが、子ども主体の保育についての認識もなく良さもあまり分かっていなかった
しかし、他園の公開保育やドキュメンテーション研修に参加していく中で自園の「保育」や「あそび」について検討する



平成28年度から保育方針を転換

- 行事中心の一斉保育から、日々の保育の遊びを中心に子ども主体の保育に切り替える



平成28年3月から、年齢の発達に応じた保育環境になるよう、保育室、生活環境、子どもの動線、

おもちゃの転換を進める。

乳児は、いかに愛着を大切にして大人を信頼できるかという保育を目指す



行事を含めた保育の見直し

○ あそびについて

行事の練習や、設定、製作の時間＝保育

上記の保育の間の休み時間＝あそび（自由あそび）



見直し

保育＝あそびの中での成長・発達

朝の集まりや体操によって、

あそびが途切れないように工夫した



○ 行事について

参観日 運動会 作品展 生活発表会 など

見直し

運動会

夏や秋の遊びに没頭できるために
例年9月だったものを7月に変更
練習を遊びの一つにして、楽しめるように工夫。

自分たちで作った衣装や考えて振り付けした踊りを踊ります。



子どもたちが決めて作った妖怪

発表会

先生が作った衣装・決められた台詞から、
自分たちで台本・役割・配役を決めて行う。
自分の衣装は自分で作る



演者とBGMに担当が分かれた

全てがスムーズに転換できたわけではない

- 今まで保育していた保育士にとって、
保育の見直し=今までの保育を否定されているように感じてしまう。

主体的な保育＝自由保育＝放任保育＝じっとできない一年生になるという不安。

設定保育・一斉保育は間違った保育なのか？と問われる。

やり方は違えど、子どもたちのために今まで保育をしていたことには違いない。だから否定も肯定もできない。

それならば、今の時代の子どもにとって最良の保育とは何かを考えていくようにした。

- 保護者の望みは「保育園でしっかりしつけをして欲しい」といったものが多く、保育の見直しを始めたときには否定的な意見もあった。
- そのため副園長・保育士と相談しながら、今後の保育について考え続けてきました。

『誰のための保育園なのか？』

保育を転換するために副園長・保育士と相談したこと

- キレイで何もない保育室（おもちゃは押し入れに）をいかに子どもたちが選んで遊べるような環境にできるか話し合った。
- 0 1 2 歳児を保育担当制にしたいが、受入人数が多く、食事は2～3回に分けた方がいい。しかし、園長・副園長の思いと、現場職員からは人数がもっと必要であると言われ、理想と現実との間に差異があり悩む。
- 子どもたちのためには行事を減らす・内容を簡素化すべきである。しかし、保育士たちからは、大小問わず全ての行事に対し、今までの保育イメージを持った保護者に説明をしてほしいという声上がる。
- 園長・副園長が参観日や行事のあるごとに保護者に子ども主体の保育についての説明をして回った。当たり前ではあるかもしれないが、すべては管理者側の責任ということが重くのしかかった。
- 園長・副園長は保育士に話す前に本を読んだり、講師の話を聞いたりして話をまとめてから、保育士たちに話したり、時には保育士の意見を中心として、意見をまとめた。否定をせずに、保育を変えていくことの難しさがあった。

- そうした中、舞鶴市では「乳幼児教育ビジョン」
として、公私立・保育園・幼稚園の垣根無く、
舞鶴に住む全ての子どものために乳幼児関係団
体が合同の研修を実施していたため、
職員一同で参加することになりました。

園内での取り組み

- クラス報告・各行事の取り組み方について
クラス内で話し合い、乳児の午睡時間を利用して
各クラスの代表が集まりリーダー会議
各クラス担任が作ったドキュメンテーションをお互いに
確認する
- 各クラスの子どもの成長・発達について職員会で発表する
週日案にエピソード記述を入れる
- 今まで保育士主導の見せる作品展・運動会・発表会から
子どもたちが考え作っていく行事に変わった

週 案 日 誌

4 歳児 うめ 組

確認印 園 長	副園長	主 任	園 長	副園長	主 任	園 長	副園長	主 任
園 長	副園長	主 任	園 長	副園長	主 任	園 長	副園長	主 任
5月	2/日	(月)	5月	22日	(火)	5月	23日	(木)
天	晴れ	2/19	天	晴れ	0/19	天	雨	2/19
夏野菜や生動物に興味をもって育てる	欠席等	活動予定	活動内容・子どもの姿	振り返りの様子・明日の予定				
染め紙あそび 園庭あそび 11レ-			半紙を好きな形に折って、染紙の具をつけて染めて遊んだ。色が濃すぎたのが、きつい色になってしまったが、子どもたちは何枚も染めて遊んでいた。また何かで発展あるといいな。	何種類かの生き物を飼っているが、どうしても必要以上に増えたり、糞はあつかいと思うことがあるので、くり返し呼びかけて、優しい気持ちで接していくようにしたい。				
			エピソード 家のほうれん草に付いていたかたつむりをススキを持ってくと、みんな興味津々。かたつむりが上手な... 家のかたつむりをススキを持ってくと、みんな興味津々。かたつむりが上手な... 家のかたつむりをススキを持ってくと、みんな興味津々。かたつむりが上手な...					
			朝から染め紙あそびの続きをしている。きりぎしをやることや、洗たくサミでロープに干すことも好きみたいで、くり返し楽しんでいる。園庭では色おにを保育士と一緒にやる姿があった。	いろいろな色に染まったりと、色に興味もあることから、今後も染紙の具あそびや、色おにや色水あそびなど、たくさん経験していきたい。ポンポンの練習は1部分だけ、水くしが参加できて良かった!				
			エピソード 染めものをしている、いろいろな色が混ざり茶色になった。「わあ! コーラのジュースの色みたい!」明日になったら、わわわかなー」と言いながら、ロープに干している。昨日と違って、友だちに染め方を教える姿があった。そして、友だちが花が、友だちが同じで楽しむ姿があった。					
			かたつむりを描こうということになり、みんなが紙を見つけた、のりや染紙の具をとり準備をして好きな色でかたつむりを描いた。しだいに、かえるやダンゴ虫も描いてそれぞれ楽しんでいた。	明日は野菜の苗植えと、ひまわりのたねを木植えることを伝えた。毎日の給食のメニューを伝えること。料理名や食材に興味を持ってままごとコーナーでもレストラン、こが始まる。				
			エピソード 昨日から... 家で見つけた赤い実と黄色い実、ともぎの家の近所にもあった。興味してみると、ソメイヨシノのサクラの実だった。実を持って、大層な「これ、家に持って帰って見せる!」とずっと持ち歩いてた。家でも自然を見つけて遊んでいる姿が、園での遊びとつながっていい経験になっていると感じた。					

年中4歳児男児 5月のエピソード

エピソード 昨日から [redacted] くんが「遠足で見つけた赤い実と同じやつが [redacted] の家の近くにもあった」と持って来てくれた。調べてみると、ソメイヨシノのサクラの実だった。持って来た廃材のバットボールにおりつぶした実と水を入れて、ふたをして、大事そうに「これ、家に持って帰って見せる!!」とあつと持ち歩いてきた。家でも自然も見つけて遊んでいる姿が、園での遊びとつながっていて良い経験になっていると感じた。



- 子どもたちの興味関心に耳を傾けるようになってきた。
- 自然への興味が家庭へと波及し、保護者も一緒に保育園での取り組みに共感している様子がうかがえる。
- 何気ないエピソードを聞き逃さず、記入していくことで振り返りや園内研修にも使うようになった。

○ Q、保育や行事を見直したことで何が変わったか？

乳児は保育担当制にし、愛着形成を基盤とした個別対応に変わった。食事も一斉に食べず、時間差の食事

幼児は 子ども：表情、動き、言葉などが子ども発信に変わった

作ってみたい意欲（宇宙・お店屋さん・楽器など）がある

保育者：子どもの姿をよく見る

子どもの言葉に耳を傾ける

保育者同士で話し合うようになった

保護者：「今日、このお菓子箱持っていて電話作ってくる」

「〇〇ちゃんと先生ごっこしとった」など次の日したいことを考えて夜過ごしている。

・なんでも自分から考えて行動するようになった。

※保護者アンケートより

アンケート(保育を変えた初年度)

4月からの保育について 常に/飾る日が楽しみで。

1. 保育園での様子や出来事について、お子様がお話しされている事があれば教えてください。

毎日保育園での話してくれす。家族ジューンしている事が多いみたいで、その話が多いです。お姉さん先生が来てくれた事、避難訓練の事、お散歩の事、何でも話してくれす。(話(あま)夕食(あま)お道(あま)いす。(笑))

2. 子どもさんについて、成長を感じられた場面があれば教えてください

今年は、今まで出来なかった事に、ねばり強くチャレンジするようになった。特に、おわとびは、帰ってから遅くまで練習し、出来た様にならなまで頑張れた。次は速く走り、目標を持っていき。

3. 各年齢に沿っておもちゃを置いたり、子どもたちが自ら遊び込める環境の保育に変わったことで、お子さんの様子で以前と変わったことがあれば教えてください。

ええ、工作が大好きなので、今年からの保育の環境は、毎日心がハートになっているのがよくわかりました。持ち帰りの工作の多いこと!

保育園の話を話してくれ、キョウケにも、協力ありがとうございました。このことです。自ら選んで遊ぶというのは、大事なことは、あと感じます。

4月からの保育について

1. 保育園での様子や出来事について、お子様がお話しされている事があれば教えてください。

お絵かきが大好きなので、毎日、そんなの書いたよーと持ってきて、プレゼントしてくれたりします。お友だちと遊んだこと、仲良かったことも、聞いたりします。

2. 子どもさんについて、成長を感じられた場面があれば教えてください

今まで、テレビやスマホの時間が長かった生活に比べ、自分で遊びを見つけ、作ったり、絵をかいたり、カルタ、トランプなど、「子どもの遊び」ができるように、なってきた気がします。

3. 各年齢に沿っておもちゃを置いたり、子どもたちが自ら遊び込める環境の保育に変わったことで、お子さんの様子で以前と変わったことがあれば教えてください。

上と同じですが、「受け身的な遊び」から、「自分で、探す、作る、動く遊び」に変わってきています。

自ら選んで遊ぶというのは、大事なことは、あと感じます

上と同じですが、「受け身的な遊び」から、「自分で、探す、作る、動く遊び」に変わってきています。

最初は好意的な意見ばかりではありませんでした しかし、徐々に好意的な意見が増えてきました

3. 各年齢に沿っておもちゃを置いたり、子どもたちが自ら遊び込める環境の保育に変わったことで、お子さんの様子で以前と変わったことがあれば教えてください。

年少時
11月
保育について

初めてなのでわからない。

去年までの方針に興味があり入園希望した部分もあり、少し残念。

日々、成長している子供たちですが、発表会を見ているとその成長を改めて感じる事ができました。

年中時
3月
発表会后

去年できなかったり苦手だったことが出来るようになっていたり、友達と協力して作品を作ったり...

家庭では体験できない事を保育園で体験させていただいているので、来年の成長がとても楽しみです。

年長時
5月
参観日後

初めてワッキング参観があり、楽しかったです。

作り物もあまり難しくなく、すぐできて、すぐ食べれる物だったので良かったです。
もう少し時間が長くても大丈夫だと思います。(1日時間半とか)

保育園での日常が見れて良かったです。

事例

- きっかけは3歳児が、ままごとコーナーで鍋やフライパンを叩いて音を出し、まわりに迷惑をかけていた。しかし、担任は注意するのではなく楽器に興味があるのかと考え、子どもたちに楽器作りを提案
- すると楽器作りに没頭



- 誕生会で披露
- 年長児とセッション



- クラスで発表
- 年長児にも発展





生活発表会で披露

この事例をドキュメンテーションにしてみました

楽器作り

3歳児 ひまわり組

〜個々の興味から協同的なあそび〜
ねらい

- ・作りたいものをイメージし、考えたことを、自分なりに表現して楽しむ。
- ・友だちと作ったものを見せたり、模倣してあそんだりする中で友だちの良さに気づき、一緒に活動する。

きっかけ...

参観日、おままごとをしてあそんでいる子が、フライパンをギターのようにしたり、並べた食器を、箸やお玉で太鼓のように叩いて演奏ごっこをしてあそんでいた。ままごとコーナーとしてのあそびが広がらず、困って終わったが子どもたちが楽しそうにあそんでいる姿を見て、実際に作ってあそんでみては...と思い、楽器作りを提案してみた。



子どもたちが作りたい楽器をイメージできるように写真を用意した。



イメージ

写真の中からどんなギターにするか友だちと考えています。

興味・関心

友だちが作った楽器を見て「まぐの作りたい」と空き箱とダンボールで、太鼓を作りました。

友だちの作ったギターに興味を示しています。

カッコいいできたね

工夫

できたギターを女書しそうに友だちや先生に教えています。

集中

本物のギターの大きさに合わせてダンボールをセロテープを使い丁寧に色を塗っています。



発見

缶やプラスチックなど素材の違う廃材を用意した。



用意した。



叩いた時の音や、
感覚虫の音を
楽しんでいます。

様々な材料を使い
太鼓を作り直して、
ドラムを作りました。

にぎやがやん



大きい組さん楽器を
作り一緒に演奏します。

みんなに見てほしいと
子どもたちの要望が
あったので、誕生会の
時に、みんなの前で、
演奏会をした。

誕生会



みんなに、演奏を
見てもらい満足そう
に合奏しました。

あそびの共有

生活発表会

発表会の最後に、子どもたちの
大好きな曲に合わせて、
演奏した。

ミュージックスタート



表現



お父さん、お母さんに、
見てもらう為に楽器
を作り直し、はきまて
演奏しています。

考察

最初は、興味のある子数名だけで作っていたが、周りの子や他のクラスに広がり、異年齢との関わりにもつながった。

○同じ楽器でも、いろいろな素材や用具を工夫し、それぞれ違う、一人ひとりの個性が出ていた。また、友だちが作っている姿を見て、アイデアを出したり、手伝ったり、協力している姿も見られた。

○誕生会や生活発表会など、大勢の人に見てもらい、自分の楽器のイメージを動きで表現したり、奏者を演じてあそんだりする楽しさを味わうことができた。

今後、友だちの良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わうテーマを子どもたちと見つけていきたい。

楽器作り

3歳児 こまわり組

～個々の興味から協同的なあそびへ～

さくかけ...

お誕生日おめでとうとしてあそんでいる子が、
フライトマンをギターのようにした。別の楽器
を、箸やお玉で楽器のように叩いて演奏すること
してあそんでいた。まさにこのコーナーとしてのあそびが
かまから出て、かわい
たがみもたのむが、あそび
にあそんでいる姿を見え、
実際に作ってあそんでみて
は、と楽しい楽器作りを
提案してみた。



ねらい

・作りたいものをイメージし考えたことを、自分なりに表現して楽しむ。
・友だちと作ったものを見せたり、模倣してあそんだりする中で友だちの良さに気づき、一緒に活動する。

子どもたちが作りだす楽器をイメージで表現し、言葉を用意した。



イメージ

言葉の中からどんな楽器にするかを子どもに考えさせました。

興味・関心



友だちが作った楽器を見て「おもしろい」と言っている姿を見え、興味を示しています。

発見

音がアコースティック楽器の作り方を発見しました。



叩いた時の音が想像以上の音が楽しんでいます。



工夫

友だちの作ったものに興味を示しています。

できた音が面白く、友だちや先生に聞いてもらっています。



集中

本物のギターの大きさに合わせて作りだすためにペンを使って丁寧に描きこんでいます。



あそびの共有

大きい組や小さい組と楽器を作り一緒に演奏しています。



誕生会

個人に楽器作り、工事に合わせた準備が、あつたので誕生会の時にみんなの前で演奏をしました。

みんなに、演奏を見てもらい満足そうに演奏しました。

生活発表会



表現

発表会の最初、お誕生日の歌がなかにあそび、演奏しました。



お父さん、お母さんに見てもらい、楽器を作り出し、演奏しています。

考察

○最初は興味のある子数名だけで作っていたが、周りの子や他のクラスに広がり、異年齢との関わりにもつながった。
○同じ楽器でもいろいろな素材や用具を工夫し、それぞれ違う、一人ひとりの個性が出ていた。また、友だちが作っている姿を見て、アイデアを出したり、手伝ったり、協力している姿も見られた。
○誕生会や生活発表会など、大勢の人に見てもらい、自分の楽器のイメージを動きで表現したり、演奏を演じてあそびたりする楽しさを味わうことができた。
今後、友だちの良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わうテーマを子どもたちと見つけていきたい。

そして・・・

- ドラムの子は気持ちを落ち着かせるときに叩いて、落ち着くと次の遊びに移動するようになりました。そしてドラムも、どんどん進化していきました。



まだまだ保育において未完成な部分がたくさんあると思いますが、この保育に変革するにあたり、副園長と主任を含む保育士たちと協力し進めてきました。

この支えがあったからこそ決断ができたと思っています。

そして、日夜園内研修を重ねてきました。

みんなの日々の努力に感謝し、子どもたちの笑顔に喜びを感じ、これからも進んでいきたいと思っています。



ご静聴ありがとうございました

舞鶴市 平成29年度 乳幼児教育ビジョン推進事業

事業全体

- 乳幼児教育ビジョン推進事業 全体会・報告会
- 乳幼児教育フォーラム
- ・近隣市町村、委託研究自治体へ広報

乳幼児教育ビジョンの周知

- 講演会、説明会等の開催
- ビジョン通信の発行
- ・家庭向けにビジョンの内容をわかりやすく発信

乳幼児教育センター・コーディネーター機能研究

- 行政による乳幼児教育の拠点機能研究
- 乳幼児教育の実践と専門家による研究等
各分野をつなぐコーディネーターの育成研究

保幼小接続カリキュラム 策定研究

- 講師：溝邊和成教授
(兵庫教育大学大学院)
- カリキュラム策定会議
 - ・保育所、幼稚園、小学校、中学校の保育者・教員代表
 - ・0-15歳を切れ目なくつなぐ保幼小中連携カリキュラム「まいづる015」(仮)の検討
 - ・事例の収集・研究
 - 保幼小中連携研修
 - ・全園・全校対象

乳幼児教育の質の向上研修 対象：保育所・幼稚園、小学校

全体講師：北野幸子准教授[神戸大学大学院]

子どもを主体とした保育

- 講師：北野幸子准教授
(神戸大学大学院)
- ◇公開・カンファレンス
 - ◇講義(ドキュメンテーション 保育リーダーの役割 他)
 - ◇グループワーク(ドキュメンテーション 公開保育の記録をもとに 他)

保幼小連携

- 講師：木下光二教授
(鳴門教育大学大学院)
- ◇講義、グループワーク
 - ◇公開・カンファレンス
 - ◇小学校教育研究会生活科部
夏季研究会合同研修会 他

乳幼児教育の推進体制構築事業検討会議

文部科学省の調査研究委託事業の実施について、研究推進体制の検討、研究結果の分析やとりまとめ、普及等の意見を聴くため設置しているもの

乳幼児教育の質向上研修 子どもを主体とした保育（概要）

(1) 公開保育、グループワーク、カンファレンス

- ◎園の公開保育と事後のグループワークにおいて実践者と参観者が保育を語り、カンファレンスを通じて学び合う。
- ◎公開保育のテーマや視点にもとづいて、参観者が子どもの姿を記録し、グループワークで活用する。

(2) ドキュメンテーション研修、グループワーク

- ◎各園で書いているドキュメンテーションを元にワークシートを活用して、保育や遊びの中の気づき、学び、保育者の関わりなどをグループで語り合う。
- ◎対象を初めてドキュメンテーションを書くフレッシュや保育のリーダーとなる保育者に分けて実施する。

(1) 公開保育

【目的】

- ◎乳幼児教育ビジョンの基本理念「主体性を育む乳幼児教育」の推進に向け、研修等を通じて、園・校種、公私を越えて共に学び合う。
- ◎公開保育を通じて、実践者も参加者も互いに保育を振り返り、学び合う機会とし、質の高い乳幼児教育を目指す。



(2) ドキュメンテーション研修

【目的】

各園で書いているドキュメンテーションをもとに保育を振り返り、保育について検討することで…

- ◎子どもの姿、言葉(事実)から、育ちと学びを見取る。
- ◎保育者のねらい、関わり、環境を考える。
- ◎保育には様々な見方や方法があることを知る。
- ◎年齢発達をとらえる。



(3) 経過報告

研修	日時	内容
ドキュメンテーション研修 (フレッシュ向け)	平成29年6月23日(金)	グループワーク:事例をもとにドキュメンテーションを書いてみよう 指導:ドキュメンテーションを見て助言
ドキュメンテーション研修 (保育リーダー向け)	平成29年7月24日(月)	グループワーク:ワークシートをもとに事例を検討する 講義:「ドキュメンテーションの中の保育を幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿でとらえる」
公開保育 (八雲保育園)	民間保育園 日(火)	公開保育・グループワーク・カンファレンス
ドキュメンテーション研修 (各園から持ち寄る)	平成29年10月11日(水)	グループワーク:ワークシートをもとにドキュメンテーションを検討する 指導:事例のドキュメンテーションへ助言
公開保育 (永福保育園)	民間保育園 日(木)	公開保育・グループワーク・カンファレンス
ドキュメンテーション研修 (各園から持ち寄る)	平成29年11月8日(水)	グループワーク:ワークシートをもとにドキュメンテーションを検討する 指導:事例のドキュメンテーションへ助言
公開保育 (中舞鶴幼稚園)	民間幼稚園 木	公開保育・グループワーク・カンファレンス
公開保育 (うみべのもり保育所)	公立保育所)	公開保育・グループワーク・カンファレンス

京都保育の魅力発信キャンペーン

- 平成29年度から京都府・京都市・京都府保育協会・京都市保育園連盟では、4者共同で「京都保育の魅力発信キャンペーン実行委員会」を立ち上げ、様々な魅力発信事業を実施しています。

①キャンペーン特設サイトの立ち上げ

②WEB広告にて就職フェアやHP「ほいなび」の紹介

③保育の魅力を考える大交流会

現役保育士と養成校の学生を対象に、講演会・交流会を企画し実行する

④SNSプロモーション